



第四小だより

～学校教育目標～
よく考え学ぶ子
じょうぶで
たくましい子
心の豊かな子

新座市馬場3-6-1 TEL 048-478-3192
HP <https://e-daiyon-c-niiza.edumap.jp/>

令和7年度3月号
令和8年2月27日



ミラノ・コルティナ大会閉幕

校長 梅田 竜平

本年度、最後の授業参観・懇談会が終了しました。お子様の1年間の成長は、見られましたでしょうか。多くの保護者の方の参観をいただき、ありがとうございました。懇談会については、情報交換の場としても活用していただきたいと思います。

さて、今月24日に、6年生を送る会を行いました。どの学年も工夫を凝らし、6年生への感謝の気持ちを伝えました。そして、6年生からは美しい歌声をいただきました。子供たちが想いを込めて表現する姿には、涙腺が緩みます。感動的な会でした。

感動といえば、第25回ミラノ・コルティナ冬季オリンピック大会が22日に閉幕しました。8競技116種目において、およそ90の国や地域を代表するアスリート約2,900人が、連日熱戦を繰り広げました。日本からは121人の選手が出場し、冬季オリンピック最高となる24個のメダルを獲得しました。個人的には、スキージャンプ、スノーボード、そしてフィギュアスケートに魅入られました。

前回の北京冬季オリンピックから4年。雪辱を胸に臨む選手、怪我を押して出場する選手、引退を表明して挑む選手…。どの選手も個々の世界大会で優秀な成績を残し、オリンピックに出場しています。それでも、複数の競技が一所に集まるオリンピックには、独特な雰囲気があるのでしょうか。ミス克服した選手もいれば、緊張のためもう少しというところでメダルに手が届かなか

った選手、力を出し切れなかった選手もいました。そのような中で、悔しさを口にすることはあっても、他者を批判せず、周囲の人に感謝の気持ちを伝えて笑顔を見せるアスリートの姿に、胸が熱くなりました。今は軽いオリンピック・ロス状態です。

しかし、6日からパラリンピックが開幕し、5日にはワールドベースボールクラシックが始まり、日本代表の初戦は6日に行われます。熱い感動を期待します。

【校舎長寿命化改修工事関係】

- 1 さくら門から校舎への動線変更
来年度は玄関と特別教室棟の工事が行われます。そのため、3月から仮囲いの位置が変わります。さくら門から校舎に入る場合は、体育館脇から中庭に抜ける通路となります。狭い通路になりますがご協力をお願いします。
- 2 夏休み5日延長、冬休み2日短縮
夏休み中に集中工事を行うためです。工事の進め方は、校舎の構造等に関わり、学校によって異なります。本校では、夏休み中の職員室移転はなく、9月のオンライン授業もありません。
現在、音楽会は7月上旬、運動会を11月上旬で検討しています。

【来年度の給食食材費について】

国の補助金については、国や県から新たな情報が出ておりません。情報が入りましたら、ご連絡します。